

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	豊かな自然を守り、循環型の社会を目指すまちづくりプロジェクト		実施期間	平成23年度	テーマ	環境保全、土地利用	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	循環型社会づくりの一端として、自然エネルギー利用の太陽光発電システムの整備が考えられるが、住宅に設置するには、費用面で負担が重く、導入が進まない状況である。ごみ収集の充実を図るため、環境に配慮したじんかい収集車の更新が必要である。							
プロジェクトの目的及び概要	自然エネルギー利用の太陽光発電システム設置、助成により、循環型社会づくりの推進と環境に対する市民意識の向上を目指す。じんかい収集車の更新により、効率的なごみ収集を図るとともに、ハイブリット車の導入により環境に配慮する。							
	総事業費（千円）	40,194	本年度事業費（千円）	26,065	交付金額（千円）	1,674		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	じんかい収集車整備事業	交付対象事業	環境に配慮したじんかい収集車2台を購入			2台購入		
	松花堂周辺整備事業（ソーラーシステム設置）	関連事業	太陽光パネル及びLEDソーラーライト設置			ソーラーシステム設置 8kw		
	小規模太陽光発電設備新設事業	関連事業	やわた流れ橋交流プラザ内に小規模太陽光発電設備を設置			敷地内に設置		
	エコ防犯ソーラーライト新設事業	関連事業	やわた流れ橋交流プラザ内にLEDソーラーライト1基設置			敷地内に設置		
住民 協働 事業	住宅用太陽光発電システム設置費助成	交付対象事業	住宅用太陽光発電システムを設置する市民等に100千円を限度に助成			23年度120件に助成		
住民が 取り組む 事業								
成果 指標	成果指標の目標数値	住宅太陽光発電システム設置助成数 合計80件 → 200件 (単年度 平成20年度 18件 → 平成23年度 125件)		成果指標の実績値 (24年3月末時点)		本市助成数 合計 200件 (単年度 平成23年度 120件)		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	東日本大震災を契機に自然エネルギー利用の考え方が浸透してきている。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果	自然エネルギー利用の太陽光発電システム設置費助成は、国の補助制度に市独自で上乗せ補助することにより、循環型社会づくりの推進と環境に対する市民意識の向上に寄与した。 老朽化したじんかい収集車の更新により、効率的なごみ収集を図るとともに、ハイブリット車の導入により環境に配慮した。							
※未達成の場合も効果 を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：八幡市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	関連事業の松花堂周辺整備事業（ソーラーシステム設置）等は市民への自然エネルギー利用の啓発になっている。
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府省エネ・グリーン化推進地域エコ活動支援事業補助金を利用して、エコ防犯ソーラーライト新設、松花堂周辺整備事業（ソーラーシステム設置）など京都議定書の合意の地として、府市協働で自然エネルギーの利用と啓発に取り組んだ。
	住民の自治意識を高める成果	東日本大震災を契機に自然エネルギー利用の考え方が浸透してきている。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。